（別紙１-４）

善通寺市新庁舎ネットワーク構築業務

要件定義書

（LGWAN接続系サーバ関連）

善通寺市

令和３年４月

第１章 概要

1.1 目的

LGWAN接続系の管理を目的として各種サーバを導入する。

第2章 作業範囲

2.1 調達範囲

調達範囲は、以下のとおりである。

（１）　各種サーバの設置及び設定作業

（２）　端末導入事業者への各種ソフトウェア提供及び設定作業支援

（３）　情報政策担当者への操作及び運用指導

2.2 設置場所

新庁舎４階サーバ室

2.3 設置期限

令和3年12月末

第３章 導入機器

3.1 必要とする機能

各機能における仕様については、後項「第４章　システム仕様」を参照のこと。

なお、ここでは機能として提示するのみであり、物理サーバ数を提示するものではない。後項のシステム仕様と合わせて本市情報政策担当職員の管理負担の低減を図ることができる構成を提案すること。

LGWAN接続系の端末台数は550台を予定している。

また、Windows Serverにアクセスする為のクライアントアクセスライセンス(CAL)は別途端末整備に合わせて購入する予定である為、ここでは考えなくて良い。(2019対応のデバイスCALを購入予定)

（１）　VMサーバ（仮想化サーバ）

（２）　資産管理

（３）　ネットワーク管理

（４）　マルウェア対策

（５）　WSUS

3.2 現庁舎から移設する機器（参考）

以下の機器については、庁舎移転時に機器を導入した事業者が移設及び移設後の設定作業を行うが、移設に伴い必要となる新庁舎ネットワークへの接続に関してはそれら事業者に対し、必要な情報提供を行うこと。

（１）　VMサーバ（仮想化サーバ：AD、在席表示、家屋評価、公職者名簿）

（２）　選挙サーバ（庁内ポータル機能を含む）

（３）　駅すぱあとサーバ

（４）　要援護者支援サーバ

（５）　グループウェアサーバ

（６）　ファイルサーバ（富士通 ETERNUS NR1000）

第４章 システム仕様

4.1 VMサーバ（仮想化サーバ）

現庁舎に設置のVMサーバと同等以上のサーバを新庁舎内に増設し、万一のシステム障害時におけるサーバプロビジョニングを可能にする目的で設置する。

4.1.1　システム要件

現VMサーバは、VMware vSphere 6 Standardを用いた仮想化サーバであり、４つのWindows Server 2016がこのVM上で稼働している。

４つのWindows Serverの内、1つはADとして運用しており、新規に導入するサーバについても同様に１つはADとしたい。なお、ここで導入するADは新庁舎ネットワークにおけるプライマリADとして運用し、現庁舎のVMは新庁舎への引っ越し後にセカンダリADとして運用する。新庁舎へのAD移設時の設定作業については、現行の導入事業者が行うが、移設に係る設定等については、指示を行うこと。必要であれば作業前に現行のAD導入事業者と調整の場を設ける。

ADに関しては、「(別紙1-6)ADについて」を参照のこと。

サーバプロビジョニングについては、将来的には自動で行えるようにしたいが、今調達では、手動での対応を想定している。

4.1.2　サーバ機器

現VMサーバ入札時に提示した仕様を以下に示す。

仕様の要件を参考にしつつ、現VMサーバと連携できる機器構成とすること。

（１）　基本機能

・汎用19インチサーバラックに搭載可能な、1Uサイズのラックマウントサーバであること。

・CPUは、XeonプロセッサーGold 5115(10コア)以上の性能及びコア数であること。

・内蔵メモリは、40GB以上であること。

・DVD-ROMの読み込みに対応した光学ドライブを内蔵すること。

・内蔵ディスクは、SAS規格10,000rpm以上のハードディスクを4本以上搭載し、ストライピング・ミラー構成とすること。利用可能な容量は3TB以上とすること。また、アレイコントローラには2GB以上のキャッシュを搭載すること。

・標準で搭載しているLANポート以外に1000BASE-T対応のLANポートを4つ増設すること。

・450W以上の電源ユニットを2つ搭載し、冗長構成とすること。

（２）　無停電電源装置

・シュナイダーエレクトリック製Smart-UPS 1500RMと同等製品であること。また、サーバと接続するケーブル及び制御ソフトウェアを添付すること。

（３）　OS及び仮想化ソフトウェア

・VMware vSphere 6 Standardにて仮想環境を構築し、Windows Server 2016 Standardを4つ稼働させたい。構築に必要となる周辺機器及びライセンス等を見積に含めること。なお、Windows Server 2016のクライアントアクセスライセンス(CAL)は、必要数を保有しているため、見積には含めないこと。

4.2 資産管理

資産管理システムついては、本市の業務で職員が使用しているパソコン（以下、端末という）の利用状況を明らかすることで、情報セキュリティにかかわるリスクマネジメントを可能にするものでなければならない。

具体的には、情報流出の可能性がある問題操作の把握、リスクの早期発見、特に個人情報の漏えいを防止しなければならない。また、あわせて、情報機器、ネットワークおよび情報システムの現状を可視化することにより、ライセンスコンプライアンスを推進するほか、社会保障・税番号制度への情報管理の強化と事務の効率化を図るほか、長期的にはコスト削減をも視野に入れるものである。

このため、ここで提示する機能は、それらを達成するだけでなく、その運用を効率的かつ適正に実施するために必要となるものである。

4.2.1　システム要件

資産管理ソフトウェアはIT資産管理機能・アプリケーション配信機能・PC操作ログ・デバイス制御管理機能を同一パッケージにより実現できる事とする。

製品安定性の観点から2021年4月時点でカタログ機能として開示していない個別開発・標準機能外での特別提供等は認めない。また、端末500台以上を有する地方自治体にて導入実績があるシステムであること。

（１）　各端末に関する各種ハードウェア情報を、資産情報として自動的に収集し、統合的に管理できること。

（２）　庁内の端末機に対し、自動的に対象端末から操作ログを収集して管理できる機能を有すること。

（３）　端末のローカルHDDに対して特定個人情報/個人情報/機密情報を含む可能性のあるファイルを検索できること。

（４）　外部記憶媒体等の使用に対して、管理者側で一元管理できる機能を有すること。

（５）　庁内ネットワークに接続された各端末に対して、管理者端末からリモート接続できる機能を有すること。

なお本市では現在、Sky社Skysea Client ViewのライセンスをLGWAN接続系及びインターネット接続系合わせ765保有しており、継続利用を前提とした提案も可とするが、本項の要件を満たす構成とすること。

4.2.2　要件の詳細について

各機能の要件の詳細については、「(別紙様式3)仕様一覧表」内、資産管理の項を参照すること。

4.2.3　サーバ機器

前項4.2.2の要件に対して、過不足の無い機器を選定すること。

4.3 ネットワーク管理

ネットワーク管理における問題点については、「(別紙1-3)ネットワーク回線の敷設と無線LAN環境の整備」で示しており、ネットワーク構築要件と合わせ必要となるシステム及びソフトウェアの提案を行うこと。

4.3.1　システム要件

「(別紙1-3)ネットワーク回線の敷設と無線LAN環境の整備」で整備する機器と同一メーカーのシステム及びソフトウェアが望ましい。提案する構成により複数メーカーの機器が混在する場合は、職員の運用・管理の利便性を考えたシステム及びソフトウェアを提案すること。

4.3.2　要件の詳細について

各機能の要件の詳細については、「(別紙様式3)仕様一覧表」内、ネットワーク管理の項を参照すること。

4.3.3　サーバ機器

前項4.3.2の要件に対して、過不足の無い機器を選定すること。

4.4 マルウェア対策

日々巧妙化・悪質化していく中で、エンドポイント対策のみでは不十分であると考えている為、通信経路を含め、ネットワーク全体を守る多層防御という考えに基づいたシステム及びソフトウェアの提案を行うこと。

また、万一のインシデント発生時に職員が迅速に対応できるような提案を合わせて行うこと。

4.4.1　システム要件

「(別紙1-3)ネットワーク回線の敷設と無線LAN環境の整備」内の「3.6　セキュリティ要件」も合わせて参照の上、最適な提案を行うこと。

なお本市では現在、トレンドマイクロ社ウイルスバスターコーポレートエディションのライセンスをインターネット側と合わせ765保有しており、継続利用を前提とした提案も可とするが、本項の要件を満たす構成とすること。

4.4.2　要件の詳細について

各機能の要件の詳細については、「(別紙様式3)仕様一覧表」内、マルウェア対策の項を参照すること。

4.4.3　サーバ機器

前項4.4.2の要件に対して、過不足の無い機器を選定すること。

4.5 WSUS

4.5.1　システム要件

LGWAN環境下に設置しているWSUSについては、地方公共団体情報システム機構がサービスを提供している「自治体情報セキュリティ向上プラットフォーム」に加入し、そこから深夜にパッチを取得している。新庁舎移設後も同サービスを活用する予定である。

Windows Server 2012、2016、2019、Windows 10、Office 2016、2019を含む、セキュリティの確保に必要なファイルを受信すること。接続先アドレス、ポート番号については本市職員より指示する。

配信に当たっては、本市職員と協議のうえ、必要なパッチのみを配信できるようにすること。

4.5.2　サーバ機器

前項4.5.1の要件に対して、過不足の無い機器を選定すること。

第５章 運用・保守要件

運用・保守に係る対応及び費用については、導入から５年間分の総費用を提示願いたい。

5.1 運用に係る費用について

機器及びシステムを利用するにあたり別途運用ライセンス等費用が発生する場合は、本業務における設置から５年間分については導入費用に盛り込むこと。

但し、前項「4.4 マルウェア対策」の中で選定したエンドポイント製品については、初年度のみとし、翌年度以降については、別途「価格明細書（様式自由）」で更新額（年額）を明示すること。

5.2 障害時対応について

導入した機器に障害が発生した際に、迅速に対応できるよう体制を整えること。

平日午前9時から午後5時までの間、障害が発生した場合、原則2時間以内に一時切り分けの対応を行うこと。

機器の保守に係る費用について、本業務における設置から５年間分については導入費用に盛り込むこと。

また、機器の保守可能な期限を提示すること。（機器導入後○年間可能とか）